

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	御前崎市公共下水道の地震対策・長寿命化事業 (防災・安全)		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成29年度 (1年間)	交付対象	静岡県御前崎市
計画の目標			

地震時において下水道が有すべき機能の必要性や緊急性から、緊急的に耐震性の向上を図るべき施設について耐震化を実施することにより、下水道としての基本的機能の確保を図る。  
長寿命化対策を実施することにより、施設の延命化及びライフサイクルコストの縮減を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・処理場の耐震化率を0% (H29当初) から100% (H29末) に増加。
- ・ストックマネジメント計画を策定する。
- ・施設の長寿命化率を0% (H29当初) から100% (H29末) に増加。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H29当初)		(H29末)	
処理場施設で耐震性能を有する施設の割合 処理場の耐震化率 (%) = (耐震性能を有する施設数) / (処理場施設数)	0%	—	100%	※耐震工事を完了しての100%では無く、当初より予定していた計画の達成率。
長寿命化計画による改築・更新を実施した割合 施設の長寿命化率 (%) = (改築・更新済み施設数) / (改築・更新対象施設数)	0%	—	100%	

全体事業費	合計 (A+C+D)	153 百万円	A	153 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+C+D)	0.0%
-------	------------	---------	---	---------	---	-------	---	-------	------------------------	------

○事後評価の実施体制、実施時期		事後評価の実施時期	
事後評価の実施体制		令和元年12月	
御前崎市事業評価審査委員会にて評価を実施		公表の方法	
		御前崎市のホームページに掲載	

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業																		
A 1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H29	H30	H31	H32	H33			
1-A1-4	下水道	一般	御前崎市	直接	御前崎市	水処理汚泥処理	改築	池新田・高松浄化センター耐震化 (地震対策)	耐震診断・耐震化	御前崎市						54.8	○	
1-A1-5	下水道	一般	御前崎市	直接	御前崎市	汚水	改築	ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画	御前崎市						38.0	○	
1-A1-6	下水道	一般	御前崎市	直接	御前崎市	水処理汚泥処理	改築	池新田・高松浄化センター改築・更新	電気設備・機械設備	御前崎市						60.4	○	H30繰越実施
											合計					153.2		

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H29	H30	H31	H32	H33				
											合計					0.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H29	H30	H31	H32	H33				
											合計					0.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・処理施設の耐震診断、耐震補強設計を実施したことにより、計画的に補強工事を行い地震対策を進めていきたい。
- ・ストックマネジメント計画を策定したことで、今後も施設の更新を計画的、効率的に行い、コスト削減を図っていきたい。
- ・浄化センターは、機械・電気設備の改築更新を実施することにより、適正な機能維持を確保することができた。

II 定量的指標の達成状況	指標① (処理場の耐震化率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標② (施設の長寿命化率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値	100%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

今後は、総合地震対策計画に基づいて、計画的に耐震化対策を行い、災害に強い施設整備を進める。  
更に、ストックマネジメント計画をもとに詳細な施設調査を実施し、緊急性や経済性を検討し効率的な整備を進め施設の延命化及びライフサイクルコストの削減を図っていく。

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	御前崎市公共下水道の地震対策・長寿命化事業（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）	交付対象	静岡県御前崎市

